



My 探究学習

大東市立深野中学校

教科	総合的な学習の時間	単元名	卒業論文・卒業発表
----	-----------	-----	-----------

本単元で育む主な情報活用能力

C-STEP 4, G-STEP 4
L-STEP 4

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。

単元でつきたい力（ステップシートの項目）

- （教科等でつきたい力）
- 主体的に自身に関心のあることを選ぶ。
 - （学校図書館等の活用でつきたい力）
 - 主観（自分の言葉）と客観（他者の言葉や資料）を区別し、話を組み立てる。
 - 得た知識を活用して自分の言葉で表現する。

単元における学習の展開（全 2 2 時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第 1 次 (10 時間)	（2 年生 3 学期） ・オリエンテーション、企画書を作成。（☆）（本時） ・テーマ決定、基礎資料の選定、公共図書館との連携。（☆） ・第 1 次 企画書・進捗状況に関する面談、発表資料を作成。（スライド）（☆） ・学年発表会を開催。
第 2 次 (6 時間)	（3 年生 1 学期） ・第 1 次での発表会の体験をもとに、卒業論文の企画書を作成。 ・テーマの推敲、基礎資料の追加・選定、公共図書館との連携。（☆） ・第 2 次 企画書提出・面談を実施。（☆） ・卒業論文の作成開始及び夏休みフィールドワーク計画書作成・依頼文の作成。（☆）
第 3 次 (6 時間)	（3 年生 2 学期） ・卒業論文の中間発表会を開催。 ・意見交換会を開催。 ・公開発表会を開催。

本時のねらい

- 企画書の作成を通して、新たな視点や課題を発見し、より深めたいテーマとなっているか吟味する。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (10 分)	1. 企画書についての説明を聞き、今後の活動の見通しを持つ。 ・箇条書きで企画書を作成する。 ※今後、学年発表や卒業論文での「タイトル」「あとがき」「参考文献」「目次」「本論」「フィールドワーク」「序論」となる。 ・後日、企画書をもとに担当教員との面談があるため、質問等にも対応できるように企画書を作成していく。	・人に伝える必然性があるテーマか、確かめる。 ・説得力のある発表にするために必要なことを考える。
展開 (35 分)	2. 企画書を作成する。 ・基礎資料が自分の深めたいテーマに対応しているか、情報が不足していないか、考える。 ・インターネットで調べる際は、責任の所在が明示されているものを使用する。 ・参考文献リストを記入する。 ・基礎資料やインターネット、教員からのアドバイスをもとに、フィールドワークに適した専門家や事業所の候補、または実地調査方法を考える。	・司書や検索システムを活用し、学校図書館や公共図書館で、基礎資料を 3 冊以上確保する。
まとめ (5 分)	3. 企画書提出、今後の大まかな予定を記入する。 ・テーマは研究を進めるうちに、細分化したり変更したりすることがあることを知る。 ・「タイトル」「あとがき」「参考文献」「目次」「本論」「フィールドワーク」「序論」の構成は、手元の本や過去の作品の構成を参考にする。	・はじめは単語やキーワードで書いていく。 ・なぜ興味があるのか、どこに面白さを感じるのか、その研究がどのように人々や社会とつながるのかを考える。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- 公共図書館を利用することで、自身で考えたテーマが自身にとって価値のあるテーマなのかどうかを友人や教員と話して吟味した。
- 希望している資料が自力で見つけられずにいた生徒は、公共図書館司書とテーマについて対話し、より深掘りできるような資料を提供してもらった。
- 他者と対話をしながら調べ学習を進め、言語能力を駆使して再編集していくプロセスは、すべての学習活動や非認知能力の育成にもつながっていくと考える。



公共図書館で本から情報収集している様子